PROVIDENT TITLE COMPANY

消費者は流行後のエージェントにさらに依存する可能性がある

COVID-19のパンデミックは人々がビジネスを行う方法を変えました、そして一部の住宅専門家はそれが不動産のプロセスを永遠に変えるであろうと予測しています。最近消費者は、これまで以上に不動産業者に依存するようになるでしょう。サンディエゴ地域の不動産プロであり、全米リアルター協会（REALTORS®）の2014年の「30歳未満」クラスの受賞者であるジェニファーアンダーソンは、最近書いたForbes.comの列。

パンデミックが発生する前は、多くの不動産プロセスでまだ印刷された文書が必要でした。コロナウイルスの発生により都市が封鎖された一方で、不動産専門家が住宅の見せ方や閉め方に適応するよう急いでいるため、住宅市場ではデジタル変革が起こりました。

「ほとんどのバイヤーは常に対面式のウォークスルーを好みますが、仮想上映はバイヤーとセラーの両方に有益な仲介ステップを提供します」とアンダーソンは述べています。「拡張現実やバーチャルリアリティなどのテクノロジーは、厳しい社会的距離の規制における不動産業界のライフラインでした。」

アンダーソン氏は、より多くの不動産専門家がテクノロジーを採用して売上をデジタル化することを予測しています。健康と安全が最前線にある今、買い手は、環境への配慮やパンデミック以降の経済的影響の検討など、より多くの情報を得るために代理店を探す可能性があります。

アンダーソン氏は、消費者が隣人との距離を伸ばすことを好むため、国の高密度地域から郊外や郊外への移動を予測しています。彼女はまた、国内の休暇と安全のために人口の少ない場所に家を所有する方がより快適であると感じているため、セカンドホームの増加を予測しています。

「COVID-19は私たちが家を売買することを妨げませんが、それは私たちが購入する方法、場所、時期、および理由を変えるでしょう」とアンダーソンは書いています。「前向きなエージェントと協力し、最新のテクノロジーを利用することで、不確実な未来に備えることができ、長期的な健康と幸福に賢明な投資をすることができます。」

出典：https://magazine.realtor/daily-news/2020/06/05/consumers-may-rely-on-agents-even-more-post-pandemic